

English Compass for Teachers



Compass(羅針盤)

大航海時代、船が目的地にたどり着くための進行方向を決定するために大きな役割を果たしました。Compassの発明のおかげで、安心して航海することができました。

2冊の'English Compass'が、子どもたちの小学校での英語学習の振り返りと中学校での英語学習の方向を指し示す案内役となり、中学校での学習をスムーズに進めるためのツールとして活用していただければ幸いです。

本冊子と“English Compass for Students”が、先生方の不安や負担感を少しでも払拭し、英語教育に取り組んでいくために役立てていただければ幸いです。本冊子について、忌憚のないご意見をお願いします。

2019年3月10日

香川大学教職大学院 教育学研究科

高度教職実践専攻 学校力開発コース

赤井真三子

CONTENTS

第1章	変わる！中学校英語の役割	1
第2章	English Compass for Students の使い方	3
第3章	小学校外国語活動・外国語科完全実施までの流れ	16
第4章	小学校外国語科の学習指導要領のポイント	17
第5章	小学校英語をふまえて、変えるべき4つのポイント	19
第6章	小学校外国語活動・外国語科で扱われる表現一覧	22
第7章	小学校第6学年～中学校第3学年の「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標	25

第1章 変わる！中学校英語の役割

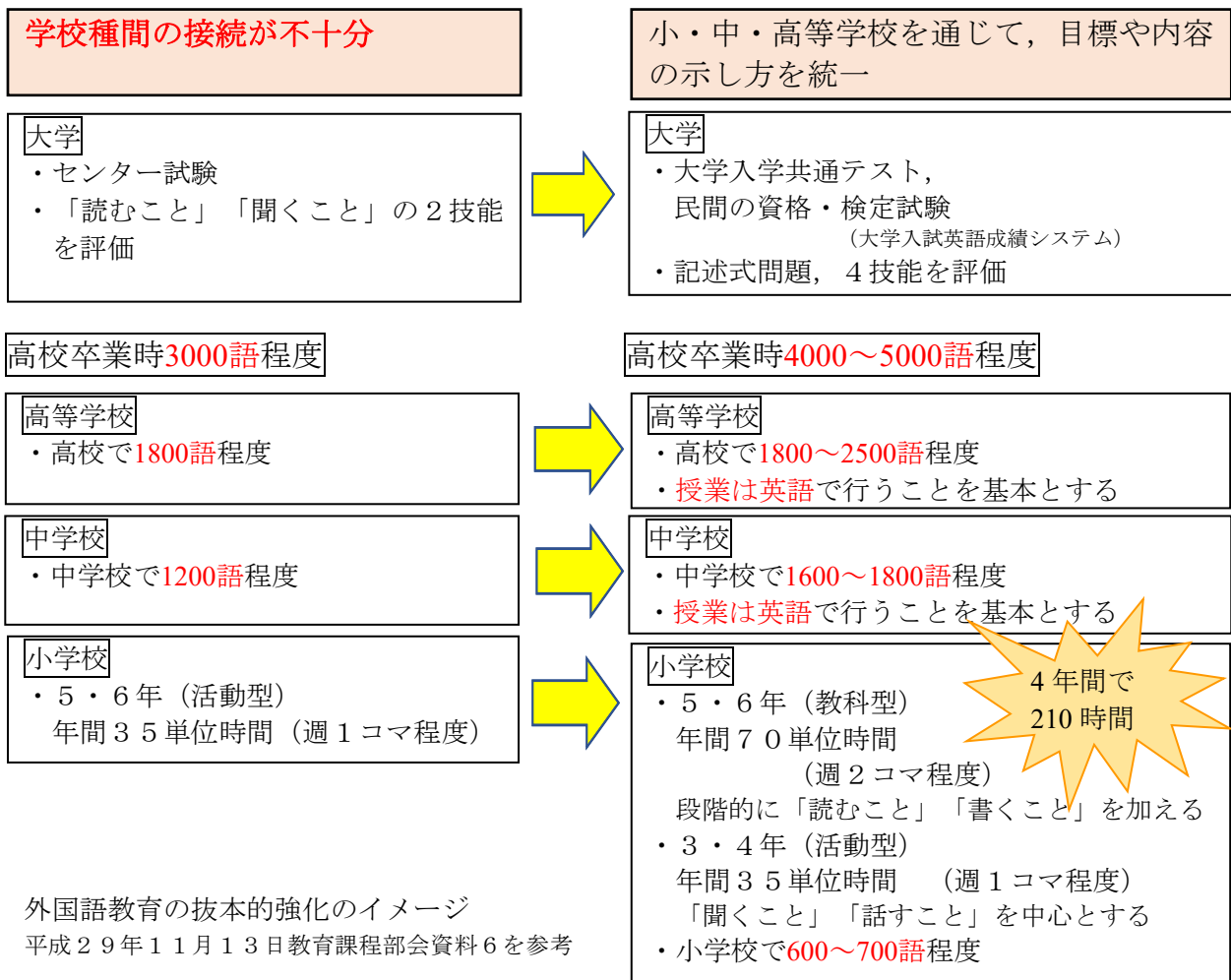
(1) なぜ、変わらないといけないのか ～英語教育の動向～

平成29年3月、小学校及び中学校の学習指導要領が公示されました。また、高等学校学習指導要領も、平成30年3月に公示されました。今回の学習指導要領の改訂は、今までになく大きな改革であると言われていています。英語教育においては、中学校は一見すると大きな変化がないように感じられますが、教科化の動きがある小学校英語と4技能をバランスよく高めるために「授業は英語で」の高校英語との間で、中学校英語がとて重要な役割を担っていると言えます。小学校で「英語は楽しい」と感じた経験を中学校へ接続しなければならないのです。英語学習の意欲をつないでいく、このような英語教育を取り巻く環境の中で、中学校こそ変わらないといけないのです。

英語教育の動向

これまで

これから



(2) どう変わらないといけないのか ～中学校で担う役割～

中学校英語科教員は、小学校での学習内容と生徒の学びの実態を十分に把握した上で、中学校での授業を進めていかなければなりません。小学校での英語学習の成果を円滑に引き継ぎ、中学校での学習に活かすことが中学校段階で担う役割と考えます。小学校英語と中学校英語の円滑な接続において、中学校で担う役割が2つあると考えます。

① 生徒自身が自分の英語力を把握する

小学校で培われた英語の知識、技能について、生徒自身が自分の英語力を把握することで、中学校での英語学習の見通しをもって学ぶことにつながっていきます。

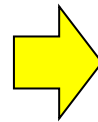
② 生徒の意欲をつなぐ

小学校でやってきたことが役に立つと実感させ、中学校でも頑張ろうと英語学習への意欲をつなぐことが重要です。



小学校英語をふまえて、変えるべき4つのポイント

- ・ 中学校でどのような力を身につけることができるようになるかを生徒に理解させる。
- ・ コミュニケーションを支えるための文法指導をする。
- ・ 教員が「書くこと」についての小学校の学びを把握する。
- ・ コミュニケーション活動を重視した授業設計をする。



第5章

(3) どのように中学校で英語学習を進めていくか

本冊子は、中学校英語と小学校英語をつなぐために、中学校英語科教員がどのように英語指導を進めていったらいいのかを知るための羅針盤(COMPASS)としての役割を果たします。小学校で固めた基盤の上に、中学校では英語の基礎を作り、高等学校ではさらに高めていくためのガイドブックの役割を果たします。

① 小学校での学びの現状把握するために

第2章 English Compass for Studentsの使い方

- ・ 中学校入門期の**オリエンテーション授業**(3時間)での観察やワークシートをポートフォリオにすることで、小学校の学びを把握することができます。
- ・ 生徒自身が自分の小学校での学びを振り返ることと、中学校での英語学習の見通しを持つことができます。

② 中学校での授業実践をするために

第3章 小学校外国語活動・外国語科完全実施までの流れ

～小学校で英語を学んだ生徒が入学してきます！

第4章 小学校外国語科の学習指導要領のポイント

～小学校学習指導要領のここをおさえる！～

第5章 小学校英語をふまえて、変えるべき4つのポイント

～中学校の授業のここを変える！～

第6章 小学校外国語活動・外国語科で扱われる表現一覧

～小学校で学習した表現を中学校の授業で使いましょう！～

第7章 小学校第6学年～中学校第3学年の「CAN-DOリスト」形での学習到達目標

～小学校での学習を把握し、中学校卒業時の見通しを持ちましょう！

第2章 English Compass for Students の使い方

オリエンテーション授業を通して

小学校で学んだ内容の復習をします。中学校1年生の教科書の内容ですが、生徒にとっては小学校の授業でなじみのある内容です。しかし、生徒によって定着度は異なると思われます。

英語を学ぶ前に と 英語の学び方 では

中学校での英語学習を進めていくにあたり、中学校段階で生徒に身に付けてほしい内容です。生徒の自学自習に役立つ学習スキルや、小学校から中学校への円滑な学習を進めるためのポイントです。

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断

自分でチェックすることを通して、生徒自身が今までの学習を振り返り、自分の英語能力を客観的に捉えることができます。

CAN-DO

小学校での学びが中学校の学習にどのようにつながっているかや、1年生の教科書のどのページでどのようにつながっているかを示しています。

1 時間目

Date _____

English Compass for Students の表紙の名前、日付は、英語で書かせてみる。

「書くこと」については、小学校差、個人差がある。

教科書(NEW HORIZON 1)の“Hi, English!”は、小学校の外国語科で学習した内容の復習として位置づけられている。生徒にとっては、小学校で慣れ親しんだ内容である。しかし、生徒によって定着度は異なるであろう。生徒がすでに身に付けている知識や技能を把握して、丁寧に指導していくことを心がける。

Let's start!

さあ、いよいよ中学校での英語学習が始まります。

今日から3時間の英語のオリエンテーション授業をします。小学校で学習した英語を復習することを通して、できるようになったことを自己チェックします。そして、中学校での勉強の仕方、学習のゴールを学びましょう。

1. 英語であいさつしてみよう。

低学年から動作をつけた歌を歌っているので、英語であいさつができる生徒は多い。

小学校でも日付は毎時間言わせているが、正確に言えるかどうかを確認し、中学校でも授業の最初には言うことを習慣化する。

T: Good morning, everyone.
 S: Good morning.
 T: How are you?
 S: I'm fine, thank you. And you?
 T: I'm happy.
 How's the weather?
 S: It's sunny.
 T: What's the date today?
 S: It's April 10.
 T: What day is it?
 S: It's Monday.
 T: What time is it now?
 S: It's ten thirty a.m.

- あいさつを行うためのコツを伝える。
- ・笑顔で相手の目を見てあいさつする。
 - ・心を伝える気持ちであいさつする。
 - ・相手のあいさつを聞く。



「英語でできるようになったことリスト」で自己診断

できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

1 【話すこと】	簡単なあいさつをかわすことができる。	
----------	--------------------	--

CAN-DO

中学校では

授業のはじまりは、いつも英語であいさつをします。教科書4ページには、"How are you?"に対する答え方を示しています。8・9ページには、月名、日付、曜日の単語を示しています。言えるようになったら、自分の力で書けるようにしましょう。

2. 先生の自己紹介を聞いて、質問に答えましょう。

T: Now I'll introduce myself. My name is Akai Mamiko.
 Please call me Ms. Akai.
 I like playing tennis. I like reading books, too. I read books on Sundays.
 My favorite book is "Swimmy". Nice to meet you.
 Now answer my questions.
 What is my name?
 S: Akai Mamiko.
 T: What sports do I play?
 S: Tennis.
 T: Yes, I play tennis. Do I like reading?
 S: Yes.
 T: Yes, I like reading books. What is my favorite book?
 S: Swimmy.
 T: Yes. When do I read books?
 S: On Sundays
 T: Yes.



生徒の気づきを大切にし、生徒から引き出した気づきをまとめることを通して、理解を助けるようにする。

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断

できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

2	【聞くこと】	先生の自己紹介文の中の、初歩的な語句や決まり文句を聞いて理解できる。	
---	--------	------------------------------------	--

CAN-DO

中学校では

Unit 1 では、自己紹介を学習します。相手の自己紹介を聞いて、たずねることができるようになります。



3. 自己紹介をしましょう。

班ごとに (一人20秒で) する。

Hello. I'm _____ .	(名前)
I like _____ .	(好きな物)
I can _____ .	(できること)
Thank you.	

会話のコツを伝える。

- ・笑顔で相手の目を見て話す。
- ・自分のことを相手に伝えようとする気持ちで話す。
- ・相手の話をしっかり聞いて、相づちを打つ。

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断

できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

3	【話すこと】	友だちに簡単な自己紹介をすることができる。	
---	--------	-----------------------	--

CAN-DO

中学校では

Unit 1 では、簡単な自己紹介を学習します。Unit 3 では自分の好きなことを、54・55 ページでは Unit 4 までに学んだことを使って3文以上の自己紹介をします。



英語を学ぶ前に 1

Why do you study English? なぜ、英語を勉強するのか?

「英語を勉強したい」と思えるような指導は、英語学習への意欲づけにつながる。「なぜ英語を学習するのか」ということを生徒に考えさせるために、教員の考えを伝える。必要性を感じてこそ、生徒は一生懸命勉強する。

英語は世界で一番話されている。

英語を学ぶと、異文化を理解できるようになる。

英語を学ぶと、日本のことを理解できるようになる。

たくさんある言語の中でなぜ英語なのかと言えば、人口から見ると中国語が一番多くの人を使用している。面積や世界の状況から見ると、英語がより広い範囲で使用されているので、小学校や中学校では英語を外国語科として学習している。

ちなみに、日本国内の外国籍人口は2017年末現在では、**2,561,848人**（法務省入国管理局 在留外国人統計）である。国連加盟国の**193か国**から来日している。その中で、香川県内の外国籍人口は**11,290人（80か国）**である。

（1位 中国，2位 フィリピン，3位 ベトナム）

英語を学ぶ前に 2

What do you want to do? 英語を使って何をしたいですか？

英語を身につけると、より豊かな生活を送ることができる。英語を通して、より広い世界とより多くの人とつながることができる。時には、仕事などで必要にせまられた状況で英語を学ばなければならないこともある。

- ① 国際社会で生きていくため
 - ・世界中の人々と話すことができる。
 - ・将来生きていくために必要になる。
 - ・国際社会に貢献できる。
 - ・外国で働きたい。
- ② 漠然とした理由
 - ・英語がしゃべれるとカッコいい。
 - ・英語の歌の意味がわかるようになりたい。
 - ・映画を字幕なしで見られるようになりたい。
 - ・外国へ旅行に行きたい。
- ③ 進路設計のため
 - ・教科の1つだから。
 - ・テストでいい点をとりたい。
 - ・入試に英語があるから。

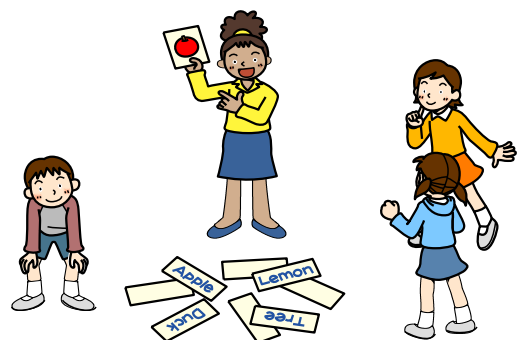


入門期の動機付けとして、「将来こんなことをしたい」と思えるように、「英語を使って～したい」ということを考えさせる。

英語学ぶ前に 3

英語の授業の準備物

準備物の共通理解を図る。



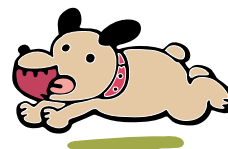
2時間目

Date _____

英語の学び方 1

英語の授業のルール

- | | |
|------------|---------------|
| ① Listen. | よく聞く |
| ② Think. | よく考える |
| ③ Repeat. | 繰り返し練習する |
| ④ Express. | 自分のことや考えを表現する |



が大切です。

① よく聞く

- ・「聞くこと」はコミュニケーションの基本
相手の言っていることがわからなければ、コミュニケーションを続けることはできない。
- ・「聞くこと」は言葉を身につけていく手段
「聞く」「読む」というインプットを十分にしないと、第2言語の習得は促進しない。
- ・「聞くこと」は異文化理解の基本姿勢
世界のいろいろな人たちの言葉を聞くことができるようになることにつながる。

② よく考える

すでに持っている知識を活性化しながら情報を受け取り、新しい知識を身に付けることができる。

③ 繰り返し練習する

繰り返し話したり、書いたりすることは言葉を学ぶ上では絶対必要である。

④ 表現する

中学校での英語学習の目標は、英語で自分のことや考えを表現することである。

【参考文献】酒井英樹(2014). 小学校外国語活動 大修館書店



英語の学び方 2

英和辞書の使い方

辞書からは様々な情報が得られます。教科書37・52・53ページには、単語をすばやくひくコツや得られる情報にどんなものがあるかを示しています。

英和辞書をひくと、こんなことを調べることができます。

- ・発音やアクセント(強く発音する)の位置がわかる。
- ・単語の意味がわかる。
- ・例文の中でその単語の使い方を示している。
- ・◆印や赤字などによって、単語の重要度が示されている。
- ・辞書には、品詞(動詞、名詞、形容詞など)が書かれている。
- ・単語の意味以外にも、文化情報なども書かれている。



4. 友達に好きかどうかをインタビューして、○×を書きましょう。

A: I like sushi. Do you like sushi?

B: Yes, I do. / No, I don't. But I like pizza.



	sushi (すし)	pizza (ピザ)	cake (ケーキ)	tomato juice (トマトジュース)
例: Ken	○	×	○	×

①教科書 p.10 の食べ物・飲み物の単語を導入し、発音練習をさせる。

T: Do you know this food? What is this?

S: Spaghetti.

②好きかどうかを言う表現を導入する。

T: I like sushi. Do you like sushi?

S: Yes.

T: Please say, "Yes, I do."

S: Yes, I do.

T: Do you like pizza?

S: No.

T: Please say, "No, I don't."

S: No, I don't.

小学校で“Do you like ~?”は、慣れ親しんでいる。like 以外の動詞はあまり親しんでいない可能性があり、中学校では“Do you ~?”の文の活用の幅が広がるように指導する。

③友だちに好きかどうかをたずねたり、質問に答えたりする練習をして、表を完成させる。

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断

できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

4	【話すこと】	友達に好きかどうかたずねたり、質問にYes/Noで答えたりすることができる。(Yes./No. だけでも◎)	
---	--------	--	--

CAN-DO

中学校では

Unit 3 では、自分の好きなことについて話したり、相手に好きなことについてたずねたりすることを学習します。そして、好きなことだけでなく、「～しますか」と play (～する), study (勉強する), write (書く), know (知っている), want (～がほしい) などの動詞も学習して、相手にたずねることができるようになります。

5. (1) 教科書6・7ページを見てください。ア～オの5つの英語を言います。読まれたものの数字を書いてみましょう。

ア () イ () ウ () エ () オ ()

(2) ①～⑩の絵が表しているものを英語で言ってみましょう。

①教科書 6・7ページのさし絵で示された英語を聞かせて、読まれた英語の番号を()
に書かせる。

〈解答〉

ア supermarket (15) イ sandwich (6) ウ tomato (17) エ convenience store (13) オ jeans (7)

②答え合わせをする。

③絵が表しているものを英語で発音させる。

小学校でふれたことのある単語なので、さし絵を見たり、つづりを見たり日本語の意味を読んだりしただけで、すばやく身のまわりの英語が言えるか確認する。

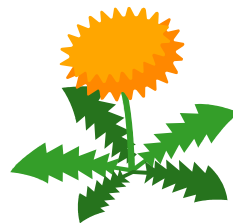
「英語のできるようになったことリスト」で自己診断 できる◎、あともう少し○、これからがんばる△

5	【聞くこと】	日常生活の身近なものについて、音声（発音された音）とさし絵を結びつけることができる。	
6	【読むこと】	日常生活の身近な単語を発音することができる。	

CAN-DO

中学校では

何も見ずに、書けることが求められます。聞いたり、話したりできるようになったら、書く練習をしましょう。



6. (1) アルファベットの大文字と小文字を読んでみましょう。

(2) 教科書12・13ページを開いてください。先生がアルファベットを読みます。読まれたアルファベットを指してみましょう。

(3) 左右の大文字と小文字を線でつないでみましょう。

- | | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| ① E | ・ | ・ | d | ア |
| ② I | ・ | ・ | i | イ |
| ③ H | ・ | ・ | r | ウ |
| ④ L | ・ | ・ | e | エ |
| ⑤ F | ・ | ・ | q | オ |
| ⑥ B | ・ | ・ | f | カ |
| ⑦ Q | ・ | ・ | h | キ |
| ⑧ R | ・ | ・ | l | ク |
| ⑨ D | ・ | ・ | b | ケ |



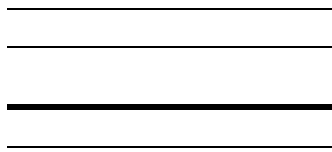
(4) アルファベットの大文字と小文字を **A~Z**, **a~z** まで順番に書いてみましょう。

大文字 **A~Z**

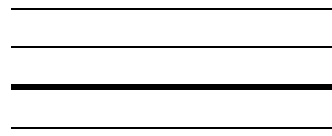
小文字 **a~z**

- ・各文字が正しく発音できているかを確認する。
- ・アルファベットを書く練習は小学校で経験しているが、正確に書けるかどうかを確認する。
- ・アルファベットをただ読んだり書いたりするだけでは、小学校で英語に慣れ親しんできた生徒の興味関心を引くことは難しいので、ゲームや歌等、活動の工夫が必要である。

小学校では、大文字と小文字を活字体で正確に自力で書くことができるようになってきているが、単語は一部を書きかえたり、用意された単語群の中から選んで書いたりすることはできるが、何も見ないで書くことまでは求められていない。また、小学校で用いられる4線と中学校で用いられている4線が少し異なるので、中学校での学習の際には指導が必要な可能性がある。



【小学校の4線】



【中学校の4線】

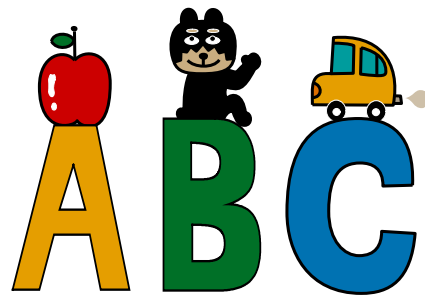
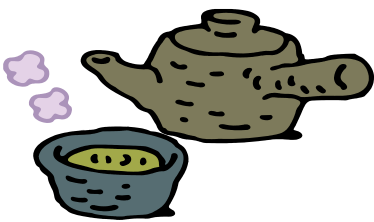
「英語でできるようになったことリスト」で自己診断 できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

7	【読むこと】	書かれたアルファベットの大文字と小文字を読むことができる。	
8	【書くこと】	アルファベットの大文字と小文字を順番どおりに書くことができる。	

CAN-DO

中学校では

教科書16・17ページを参考にして、正確に書けるようにしましょう。特に小文字は高さに注意しましょう。bとd, fとt, pとqは、形のちがいにも気をつけましょう。17ページの下に書いてあるように、印刷物などの字と手書きの文字のちがいを知り、手書き文字を書けるようにしましょう。



3時間目

Date _____

7. (1) 先生の英語を聞いて、それぞれの音と右の単語を線で結んでみましょう。

- | | | | |
|---|---|---|---------------|
| ① | • | • | DVD |
| ② | • | • | bus |
| ③ | • | • | table |
| ④ | • | • | comic book |
| ⑤ | • | • | soccer player |
| ⑥ | • | • | video game |

アルファベットの音を聞いて、文字と一致させる。特に、単語の最初の文字を意識して聞かせる。

(2) 教科書 14・15 ページの単語を声に出して読みましょう。

英語の発音に慣れ、音と文字を結びつけたり、音とつづりの関係を意識したりできるようにさせる。

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断 できる◎、あともう少し○、これからがんばる△

9	【聞くこと】	日常生活の身近なものについて、音声（発音された音）とつづりを結び付けることができる。	
---	--------	--	--

CAN-DO

中学校では

つづりと発音（発音された音）の関係にも、少しずつ慣れることが大切です。教科書 148・149 ページを参考に、基本的な発音を少しずつ覚えていきましょう。文字と音の基本的なルールを覚えると、知らない単語を読むことができるようになりますし、書くこともできるようになります。

8. 友達のできることをたずねてみましょう。

A: I can play soccer. Can you play soccer?

B: Yes, I can. I can play soccer. / No, I can't. But I can play tennis.

	play baseball (野球をする)	play shogi (将棋)	cook curry (カレーを作る)	eat natto (納豆を食べる)
例: Ken	○	×	○	×

①教科書 p.10 のスポーツ・楽器の単語を導入し、発音練習をさせる。

T: Let's talk about sports and musical instruments. What is this?

S: Baseball.

②「できること」を言う表現を導入する。

T: I can play tennis. Can you play tennis?

S: Yes.

T: Please say, "Yes, I can."

S: Yes, I can.

T: Can you play the piano?

S: No.

T: Please say, "No, I can't."

S: No, I can't.

“Can you ~?” “I can ~.”は、小学校で慣れ親しんでいるので、それほど難しくないとされる。

③友だちにできるかどうかをたずねたり、質問に答えたりする練習をして、表を完成させる。

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断 できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

10 【話すこと】	友達にできるかどうかたずねたり、質問にYes/Noで答えたりすることができる。(Yes./No. だけでも◎)
-----------	---

CAN-DO

中学校では

Unit 10 では、できることやできないことについて話したり、たずねたりすることを学習します。また、いつ、どこでできるかをたずねることができるようになります。

9. 次の英語の文を書いてみましょう。名前ところに自分の名前をローマ字で書いてみましょう。

Good morning.

I'm (名前).

Do you like 好きなもの?



- ・自分の名前をヘボン式ローマ字で書けるかどうか確認する。
- ・好きなものは、つづりを書き写すことができるかどうか確認する。
- ・英語の文を書く時のルールを確認する。
 - ①人名や地名、文頭は大文字で書く。
 - ②単語と単語の間は1文字分あけて書く。
 - ③文末はピリオドやクエスチョンマークを付ける。

英語でできるようになったことリスト」で自己診断 できる◎、あともう少し○、これからがんばる△

1 1 【書くこと】	音声に慣れ親しんだ語句や表現を使った例の中から、言葉を選んで、自分のことについて文を書くことができる。	
1 2 【書くこと】	英語の書き方のきまりに合わせて正しく文を書くことができる。 (人名や地名、文頭は大文字、単語と単語の間は少し離す、文の最後はピリオドかクエスチョンマークをつける。)	

CAN-DO

中学校では

教科書18・19ページに単語の書き方を参考に、正しいルールをマスターしましょう。そして、28ページには文の書き方のルールがまとめられています。書き終わったら、正しく書けているか見直しすることが大切です。

英語の学び方 3

中学校では、特に「書くこと」についての復習が大切です。英語の単語が書けるといふ状態は、何も見ないで書ける状態を言います。小学校では、「見て書き写す」でよかったのですが、中学校では自分の力で書けるようになることが求められます。

そのために家庭学習では、

- ①自分でテストしてみる(何も見ないで書いてみる)
- ②自己点検
- ③間違ったところ、書けなかったところを練習して書けるようにする
- ④自分で再テストしてみる

というサイクルを繰り返しましょう。「分かること」と「できる」ことは違います。家で復習をするためには、授業中にしっかり聴いて、声を出して読めるようにしておくことが必要です。読むことができないことは書けませんよ。Do your best! (ベストを尽くして!)

英語の学び方 4

教科書2. 3ページを参考に、中学校3年間の英語学習への見通しをもちましょう。

小学校の英語学習では

「聞くこと」「話すこと(やり取り・発表)」を中心に英語に親しみ、「読むこと」「書くこと」にも少しふれてきました。

中学校では

「読むこと」「書くこと」も本格的に学習がスタートして、「聞くこと」「話すこと(やり取り・発表)」「読むこと」「書くこと」の4つの技能(5つの領域)をバランスよく学習するようになります。自己紹介や、自分の1日の生活、将来の夢、自分の町、日本文化の紹介などについて話し、話したことをもとに自分の力で正確に書くことができるようになります。そして、物語、地理、歴史、スポーツ、環境問題、人権や平和などさまざまなジャンルについての英文を読むことができるようになります。

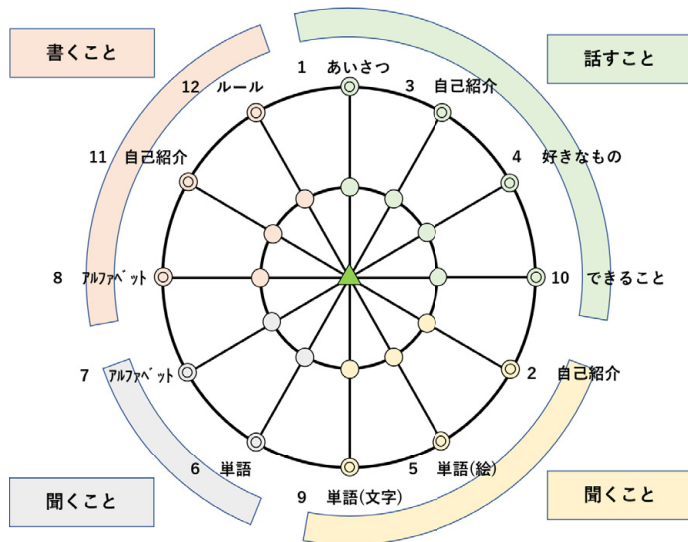
英語オリエンテーション授業のふり返り

1年()組()番 氏名()

英語でできるようになったことリスト

できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

1	【話すこと】	簡単なあいさつをかわすことができる。
2	【聞くこと】	先生の自己紹介文の中の、初歩的な語句や決まり文句を聞いて理解できる。
3	【話すこと】	友だちに簡単な自己紹介をすることができる。
4	【話すこと】	友達に好きかどうかたずねたり、質問にYes/Noで答えたりすることができる。(Yes./No. だけでも◎)
5	【聞くこと】	日常生活の身近なものについて、音声(発音された音)とさし絵を結びつけることができる。
6	【読むこと】	日常生活の身近な単語を発音することができる。
7	【読むこと】	書かれたアルファベットの大文字と小文字を読むことができる。
8	【書くこと】	アルファベットの大文字と小文字を順番どおりに書くことができる。
9	【聞くこと】	日常生活の身近なものについて、音声(発音された音)とつづりを結びつけることができる。
10	【話すこと】	友達にできるかどうかたずねたり、質問にYes/Noで答えたりすることができる。(Yes./No. だけでも◎)
11	【書くこと】	音声(発音された音)に慣れ親しんだ語句や表現を使った例の中から言葉を選んで、自分のことについて文を書くことができる。
12	【書くこと】	英語の書き方のきまりに合わせて正しく文を書くことができる。(人名や地名、文頭は大文字、単語と単語の間は少し離す、文の最後はピリオドかクエスチョンマークをつける。)



☆英語でできるようになったことリストの結果を見て、今の自分の英語について気づいたことと、これから取り組みたいことについて書きましょう。

第3章 小学校外国語活動・外国語科完全実施までの流れ ～小学校で英語を学んだ生徒が入学してきます！～

学習指導要領において、高学年の「外国語」は年間70単位時間（1単位時間45分）実施することになっています。ただし、平成30（2018）年度と平成31（2019）年度の移行期間は、最低50時間行うこととしています。この2年間に限って「総合的な学習の時間」の15時間分を活用してもよいこととし、従前の「外国語活動」の35時間にこの15時間分を加えて、最低50時間としています。

2018年度 (移行期間1年目)	2019年度 (移行期間2年目)	2020年度 (小学校完全実施)	2021年度 (中学校完全実施)
中学年 最低15時間実施 高学年 最低50時間実施	中学年 最低15時間実施 高学年 最低50時間実施	小学校検定教科書使用開始	中学校新検定教科書使用開始
3年 "Let's Try 1"	4年 "Let's Try 2"	5年 検定教科書（5年）	6年 検定教科書（6年）
4年 "Let's Try 2"	5年 "Hi, friends! 1"と"We Can! 1"の2冊併用	6年 検定教科書（6年）	中1 新検定教科書（中1）
5年 "Hi, friends! 1"と"We Can! 1"の2冊併用	6年 "Hi, friends! 2"と"We Can! 2"の2冊併用	中1 現行教科書使用（中1）	中2 新検定教科書（中2）
6年 "Hi, friends! 2"と"We Can! 2"の2冊併用	中1 現行教科書使用（中1）	中2 現行教科書使用（中2）	中3 新検定教科書（中3）

（"We Can! 1"の授業&評価プラン 菅正隆 編著 より抜粋）

中学校入学時の英語の授業時間

2018・2019年度の2年間は移行期です。すでに、ほとんどの小学校では、3・4年生で週1時間の外国語活動が、5・6年生で週2時間の外国語科が実施されています。2024年度までは、学習量と学習内容が異なる生徒が段階的に入学してきます。現6年生は70時間、現3年生は210時間の英語の授業を経験して中学校に入学してくることになります。中学校3年間の英語の授業時間は420時間で、現小学校3年生から中学校3年間の半分の授業時間を小学校で経験して中学校に入学してくることになります。

学年	英語の授業時間
現小学校6年生	70
現小学校5年生	140
現小学校4年生	175
現小学校3年生	210

2020年度完全実施までの移行期間は、小学校での授業の時間や内容に差があります。また、中学校で教科書が改訂される2021年度までは、現行の教科書を使用します。小学校での学びを活かした指導をするためには、校区の小学校でどのように英語教育が進められているかを把握することが大切です。

第4章 小学校外国語科の学習指導要領のポイント ～小学校学習指導要領のここをおさえる！～

学習指導要領における外国語活動、外国語科の目標

小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、話すこと</u> の言語活動を通して、 <u>コミュニケーションを図る素地となる資質・能力</u> を育成することを旨とする。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと</u> の言語活動を通して、 <u>コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力</u> を次のとおり育成することを旨とする。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと</u> の言語活動を通して、 <u>簡単な情報や考え方を理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力</u> を次のとおり育成することを旨とする。

※3つの目標を比較するため、編者による下線、網掛けを加筆している。

学習指導要領における外国語科の「読むこと」の目標

小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
	<p>ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。</p> <p>【編者からの留意事項】 活字体で書かれた文字（アルファベット）の名称読みをすることができるが、単語を読むことができるとはかぎらない。</p> <p>イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語や基本的な表現の意味が分かるようにする。</p> <p>【編者からの留意事項】 単語が添えられた絵カードを何度も見ながら、聞いたり話したりして、音声で十分に慣れ親しむ。単語の読み方を推測して読む程度であり、<u>語句や表現をすらすら読むことはできない。</u></p>	<p>ア 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。</p> <p>イ 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。</p>

学習指導要領における外国語科の「書くこと」の目標

小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
	<p>ア 大文字，小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。</p> <div data-bbox="555 566 986 840" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【編者からの留意事項】 単語と単語の間にスペースをとることや，文や固有名詞の最初は大文字にする等の英語の表記や，4線を意識して書き写すことができる。しかし，覚えて書くことはできない。</p> </div> <p>イ 自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。</p> <div data-bbox="555 1077 986 1274" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【編者からの留意事項】 一部を書きかえたり，用意された単語群の中から選びとって書き写すことができる。何も見ないで書くことはできない。</p> </div>	<p>ア 関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いて，まとまりのある文章を書くことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，考えたことや感じたことその理由などを簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。</p>

学習指導要領における「外国語の言語材料」

小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
<p>小学校第3学年及び第4学年で取り扱った語を含む600～700語程度の語 <u>日本語と英語の語順の違い等に気付かせるとともに，基本的な表現として，意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。</u></p>	<p>小学校で学習した語に1600～1800語程度の新語を加えた語 意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。</p>

【参考文献】

- 外国語 新学習指導要領移行期に理解したいこと 高学年外国語科での読むこと・書くことの指導
 直山木綿子 総合教育技術 (2018. 7)
 初等外国語教育 湯川笑子 ミネルヴァ書房 (2018. 3. 18)

第5章 小学校英語をふまえて、変えるべき4つのポイント ～中学校の授業のここを変える！～

1. 小学校で学んだ言語材料の定着，発展をさせるために，どのような力に付けることができるようになるかを生徒に理解させる。

小学校ですでに学んだ言語材料を，中学校でも学ぶことになる。その時に，どのような力を身に付けることができるようになるかを，生徒に理解させる必要がある。

例えば，書き写すのではなく，自分の力で書く等，**中学校で求められていることを具体的に示す。**

2. コミュニケーションを支えるための文法指導をする。

小学校においては，表現できることでも文法等の文のきまりについての解説は行われていない。小学校での学びに正確さを身に付けるための文法指導を行う。コミュニケーションを支えるための文法指導であるということを心がける。

小学校 Do you like ~? 「まるごと」覚える。

疑似コミュニケーションを体験させる中で，「気づき」をうながしながら，実際に運用できるようにする。

中学校 Do you like ~? you を she に変えると Does she like ~? になるという，**きまりを学ぶ。**



第5学年及び第6学年

〔知識及び技能〕

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して，・・・言語材料と言語活動とを効果的に関連付け，実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。

(3) 言語の働きに関する事項

ア 言語の使用場面の例

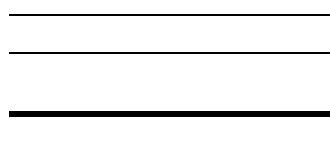
(ア) 児童の身近な暮らしに関わる場面

・家庭での生活 ・学校での学習や活動 ・地域の行事 など

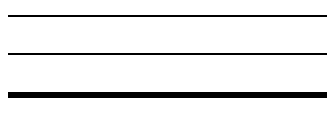
言語活動を行う際には，**表現の文構造などを指導することなどはせず**，児童に示された場面で活用する表現の音声を意識させ，コミュニケーションを通して表現の意味や働きを**体験的に理解させていく指導**が大切である。これにより，中学校段階で具体的に文の構造を生徒に指導したりする際に，比較的抵抗なく理解を促し，より活用できるようにすることが期待できると思われる。

3. 「書くこと」についての小学校の学びを教員が把握する。

小学校では、大文字と小文字を活字体で正確に自力で書くことができるようになってきているが、単語は一部を書き換えたり、用意された単語群の中から選びとって書き写したりすることはできるが、何も見ないで書くことまでは求められていない。また、小学校で用いられる4線と中学校で用いられている4線が少し異なるので、中学校での学習の際には指導が必要な可能性がある。



【小学校の4線】



【中学校の4線】



小学校第5学年及び第6学年での「書くこと」の目標は

ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

【編者からの留意事項】

単語と単語の間にスペースをとることや、文や固有名詞の最初は大文字にする等の英語の表記や、4線を意識して書き写すことができる。しかし、覚えて書くことは求められていない。

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

【編者からの留意事項】

一部を置き換えたり、用意された単語群の中から選びとって書き写すことができる。何も見ないで書くことは求められていない。

具体的には

(ア) 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を**書く**活動。

何も見ることなく児童が自分の力で書くことができるようになることを求めている。

(イ) 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を**書き写す**活動。

(ウ) 相手に伝えるなどの目的をもって、語と語の区切りに注意して、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を**書き写す**活動。

(エ) 相手に伝えるなどの目的をもって、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から**言葉を選んで書く**活動。

例となる語句や表現を示すことが必須となる。 主に文を書く。

「書き写す」と「書く」

「書き写す」・・・語句や文を見ながらそれらをそのまま書くこと。

「書く」・・・例となる文を見ながら、自分の考えや気持ちを表現するために、例となる文の一部を別の語に替えて書くこと。

4. コミュニケーション活動を重視した授業設計をする。

小学校の英語の授業では、コミュニケーション活動重視の授業が児童の学習意欲を高め、英語の発信力を向上させている。指導目標が、小学校と中学校では異なるので、たとえ言語材料が同じであっても、授業の内容やねらいが異なる。小学校英語から中学校英語のスムーズな移行のためには、「指導法の継続性」を意識し、小学校で行っているようなコミュニケーション活動の場面を設定することが不可欠である。

また、2年生で行われた Speaking テストの振り返りとして、「話すこと [やり取り]」に課題が見られる。小学校からの話す活動を活かした授業を進めていく上で、新学習指導要領に適した授業構成を考えていく必要がある。

具体的には

- ・やり取りのためのコミュニケーションタイム
(スピーチ, チャット, ストーリー・リテリング)
- ・新出文法事項の口頭導入
- ・教科書本文の口頭導入



第6章 小学校外国語活動・外国語科で扱われる表現一覧
 ～小学校で学習した表現を中学校の授業で使いましょう！～

We Can! 1

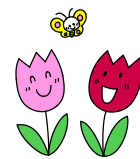
単 元 名	表 現
Unit 1 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介	Hello. I'm Saki. Nice to meet you. My name is Kosei. How do you spell your name? K-O-S-E-I. I (like / don't like) blue. What sport do you like? I like soccer very much. I want a new ball.
Unit 2 When is your birthday? 行事・誕生日	When is your birthday? My birthday is August 14th. What sport do you like? I (like / don't like) tennis. Do you want new shoes? Happy birthday. What do you want for your birthday? I want a dog.
Unit 3 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業	Do you have P.E. on Monday? Yes, I do. / No, I don't. What do you have on Monday? I have math. I want to be a teacher. I want to study English.
Unit 4 What time do you get up? 一日の生活	What time do you get up? I usually get up at 7:00. (always, usually, sometimes, never) (wash the dishes, set the table, clean my room, get the newspaper, go to bed, walk my dog, take a bath, do my homework, go home, play with my friends, eat breakfast / lunch / dinner)
Unit 5 She can run fast. できること He can jump high.	Can you sing well? Yes, I can. / No, I can't. (I / You / She / He) (can/ can't) sing well.
Unit 6 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域	Where do you want to go? I want to go to Italy. Why? I want to (see / go to / visit) the Colosseum. I want to eat pizza. I want to buy olive oil. It's (exciting / delicious / beautiful / great / fun).
Unit 7 Where is the treasure? 位置と場所	Where is the treasure? Go straight for three blocks. Turn (right / left) at the third corner. You can see it on your (right / left). It's (on / in / under / by) the desk.
Unit 8 What would you like? 料理・値段	What would you like? I'd like spaghetti. It's for my brother. This is for my brother. How much? It's 900 yen. Here you are. Thank you.
Unit 9 Who is your hero? あこがれの人	Who is your hero? This is my hero. (He / She) is good at playing tennis. (He / She) is a good tennis player. (He / She) can cook well. (He / She) is (kind/cool/great/strong/gentle/active / brave / funny).

We Can! 2

単 元 名	表 現
Unit 1 This is ME! 自己紹介	I'm from Kagawa. I (like / play) tennis. I can play tennis well. I am good at running. My birthday is June 5th. My nickname is Ken. I want to go to America. I want to watch baseball games. What subject do you like?
Unit 2 Welcome to Japan. 日本の文化	Welcome to Japan. I (like / enjoy) rakugo. In summer, we have fireworks festivals. What food do you have in Japan? We have udon. Why do you like it? It's delicious. You can enjoy tempura.
Unit 3 He is famous. She is great. 人物紹介	I am Ken. I play the piano. I want a new ball. I eat spaghetti. I study science. I can (swim / cook / skate / ski / sing / dance). Who is this? (He / She) is (great / famous).
Unit 4 I like my town. 自分たちの町・地域	We have a park. We don't have an aquarium. We can see many flowers. We can enjoy (shopping / swimming / fishing / jogging). I want a library. Sakura is a nice town.
Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出	I went to my grandparents' house. I enjoy fishing. I saw the blue sea. It was (fun / exciting / beautiful / delicious).
Unit 6 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック	What do you want to watch? I want to watch wheelchair basketball on TV. Why? He is good at playing tennis. He is a great tennis player. I like baseball. Are you good at basketball? Yes, I am. / No, I'm not.
Unit 7 My Best Memory 小学校生活・思い出	What's your best memory? My best memory (is / was) our school trip. We went to Kyoto. We enjoyed the trip. We ate Japanese food. We saw old temples.
Unit 8 What do you want to be? 将来の夢・職業	What do you want to be? I want to be a vet. Why? I like animals. I can save animals. That's good. Good luck.
Unit 9 Junior High School Life 中学校生活・部活動	I want to join the soccer club. What club do you want to join? I want to study hard. I want to read many books. I want to make many friends. I want to enjoy sports day. What event do you want to enjoy?

Hi, friends! 1

単元名	表現
Lesson 1 Hello! 世界のいろいろな言葉であいさつしよう	Hello. Hi. My name is ~. What's your name? Thank you. Goodbye. See you.
Lesson 2 How are you? ジェスチャーをつけてあいさつしよう	How are you? I'm happy.
Lesson 3 How many? いろいろなものを数えよう	How many pencils? Five pencils.
Lesson 4 I like apples. 好きなものを伝えよう	I like ~. Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. I don't like ~.
Lesson 5 What do you like? 友だちにインタビューしよう	What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like (soccer).
Lesson 6 What do you want? アルファベットをさがそう	What do you want? The 'A' card, please.
Lesson 7 What's this? クイズ大会をしよう	What's this? It's a piano.
Lesson 8 I study Japanese. 「夢の時間割」を作ろう	I study Japanese on Monday. What do you study on Friday?
Lesson 9 What would you like? ランチメニューを作ろう	What would you like? I'd like a hamburger.



Hi, friends! 2

単元名	表現
Lesson 1 Do you have "a"? アルファベットクイズを作ろう	Do you have "a"? Yes, I do. / No, I don't.
Lesson 2 When is your birthday? 友だちの誕生日を調べよう	When is your birthday? My birthday is March eighteenth.
Lesson 3 I can swim. できることを紹介しよう	I can / can't ~. Can you ~? Yes, I can. / No, I can't.
Lesson 4 Turn right. 道案内をしよう	Where is the school? Go straight. Turn right. / Turn left. Stop. Excuse me. Sorry.
Lesson 5 Let's go to Italy. 友だちを旅行にさそおう	I want to go to Italy. Where do you want to go? Let's go. Let's go to Italy.
Lesson 6 What time do you get up? 一日の生活を紹介しよう	What time do you get up? I get up at seven.
Lesson 7 We are good friends. オリジナルの物語を作ろう	We are strong and brave. We are good friends.
Lesson 8 What do you want to be? 「夢宣言」をしよう	I want to be a teacher. What do you want to be?

第7章 小学校第6学年～中学校第3学年の「CAN-DO リスト」 の形での学習到達目標

～小学校での学習を把握し、中学校卒業時の見通しをもちましよう！～

	小学校第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年
聞くこと	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	初歩的な語彙や表現での会話、自己紹介、放送などを聞いて、主な内容を聞き取ることができる。	放送、天気予報等特定のテーマについての英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。	様々な場面で話されるまとまった英語を聞いて、概要や要点を整理して内容や話し手の考えや意向を正確に聞き取ることができる。
読むこと	言語外情報を伴っている、日常生活に関する身近で簡単な事柄が書かれた掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を読み取ることができる。	初歩的な語彙や表現で書かれた文章や物語を読み、その主な内容を読み取ることができる。	レポートやスピーチ、物語や説明文を読みその主な内容や書き手の意向を読み取ることができる。	物語や伝記、記事説明文等を読み、自分の感想や意見を述べるように、その内容や大切な部分を整理しながら正確に読み取ることができる。
話すこと やり取り	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的表現を用いて、質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	初歩的な語彙や表現等を用いて、短い会話をするができる。	身近な話題について、問答する等して会話を続けることができる。	聞いたたり読んだりしたことについて、感想や意見を述べ合ったり、問答したりすることができる。
話すこと 発表	身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的表現を用いて話すことができる。	初歩的な語彙や表現等を用いて、自分自身のことや体験したことなどについて発表することができる。	様々な話題について、情報や意見を正しく伝えることができる。	自分の選んだテーマ等について、まとまった内容でスピーチをすることができる。
書くこと	名前や年齢、趣味、好き嫌いなど自分に関する事柄について、英語で書かれた文、又はまとまりのある文章の一部を、例示された語句、あるいは文の中から選んだものに置き換えて、自分に関する文や文章を書くことができる。	初歩的な語彙や表現等を用いて、自分自身のことや体験したこと等についての短い文を、英文のルールに従って、3文以上で書くことができる。	語と語や文と文のつながりなどに注意しながら、様々な主題について、意見やその理由を含めて4文以上で書くことができる。	様々な主題について、情報や自分の考えなどが読み手に正しく伝わるよう、文章の構成を意識して5文以上で書くことができる。